

地域計画

策定年月日		令和7年 3月31日
更新年月日		令和 年 月 日 (第 回)
目標年度		令和16年度
市町村名 (市町村コード)		天草市 (432156)
地域名 (地域内農業集落名)		下田南

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

地域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	8.0ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	8.0ha
② 田の面積	8.0ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	0.0ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.2ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.2ha
（参考）区域内における65才以上の農業者の農地面積の合計（※年齢は地域の実情を踏まえて記載）	0.9ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	0.9ha

（備考）⑤は、当地区で引き受ける意向のあるすべての農用地面積の合計。

(2) 地域農業の現状と課題

当地区では、地区内にある農地が地区外地権者及び高齢者等農作業が困難な農地が増加している。このため、簡易な農作業については、天草こごと農事組合法人が受け手となり、組合の構成員と共同維持活動を行っている。今後は構成員も高齢化が更に進むことから、中心となる経営体を支え、活動できる農地の管理者も共同維持活動に積極的に参加し、地域全体で農地を守っていく仕組みづくりの構築が必要となっている。

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

地域の主要作物は水稲となっており、米消費量の減少や、米価低迷の状態が続き生産拡大は見込めない状況となっている。このため、地域の担い手が一体となって積極的に共同維持活動に参加することで、生産コストの削減を図る。また併せて、収益性のある園芸野菜の栽培など、新たな農業生産スタイルの導入・検討を進めていく必要がある。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
担い手（天草こごと農事組合法人）への農地集積を基本として、農用地の効率的な利用を図る。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	88%	将来の目標とする集積率	94%
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
担い手（天草こごと農事組合法人）が利用する農地面積は7ha（令和6年度時点） 後継者不在の農用地を担い手（天草こごと農事組合法人）に集約化することで、担い手が利用する農地面積を維持する			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置（必須項目）

（1）農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用しながら、担い手への農地集積を進める。
（2）農地中間管理機構の活用方法
管理が出来なくなる可能性がある農地については、農地中間管理機構を活用し、担い手の経営意向を集約しながら段階的に集積・集約化を進める。
（3）基盤整備事業への取組
実施済
（4）多様な経営体の確保・育成の取組
市やJAと連携し、地区内外からの多様な経営体を地区内へ呼び込み、天草ごとこ農事組合の構成員等を中心として、地域全体で担い手の育成などの取組みを行う。
（5）農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
農作業の効率化を図るため、可能な簡易作業（法面等の草刈り作業や用水路等の泥上げ作業など）は天草ごとこ農事組合の構成員が共同で行い、それ以外の作業は原則、地権者等が行うこととし、必要に応じてJA等のサービス事業者（天草町農作業受託組合）へ委託する事で、遊休農地の発生防止を図る。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください。）

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策		②有機・減農薬・減肥料		③スマート農業		④輸出		⑤果樹等
	⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/>	⑨その他		
<p>【選択した上記の取組内容】</p> <p>①イノシシ被害が拡大しないように必要に応じて防護柵を設置する。 ⑦地域で耕作が難しい農地は多面的機能支払交付金事業を活用し保全管理に取り組む。 ⑧水路・農道等の共同で管理する農業用施設については、多面的機能支払事業(長寿命化)を活用し、施設の保全管理を図る。 ⑨令和7年4月に文部科学省学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校)として開校予定の「熊本学習支援センター天草ごとこ学園校」と農業食育連携事業を推進する。</p>									

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業者	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
集営組織		水稲・飼料稲・野菜	70,358㎡		水稲・飼料稲・野菜	74,895㎡		1	
利用者		水稲・野菜	4,540㎡		水稲・野菜	2,426㎡		2	
利用者		野菜	989㎡		野菜	989㎡		3	
利用者		野菜	1,260㎡		野菜	1,260㎡		4	
利用者		水稲	2,423㎡					5	
利用者		野菜	333㎡		野菜	333㎡		6	
利用者		野菜	161㎡		野菜	161㎡		7	
計			8ha	ha		8ha	ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名	作業内容	対象品目
1			
2			

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載して下さい。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	(%)
-------------	--	---------------	------

天草町下田南地区現況地図



天草町下田南地区目標地図

